

第一部国際協力分科会（第26期・第1回）

議事要旨

日時：2024年6月27日（木）15：00～16：00

会場：オンライン形式で開催

出席：小田中（議長）、浅田、植木、坂井、城山、馬奈木、米村、渡邊

【以上、敬称略】

議題

（1）役員の選出について

- ・本分科会の役員として議長より提案があり、委員長として小田中会員、副委員長として城山会員、幹事として浅田連携会員が選出された。

（2）第26期の活動方針について

- ・日本学術会議幹事会「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」（2021年4月22日）「I. 国際活動の強化 具体的な取組」を促進するために、小田中委員長より、以下の活動方針案が提示され、承認された。

(a) 日本学術会議および第1部会としての包括的な国際的活動を考慮し実現する。

(b) 研究・教育活動として、自然科学系と人文・社会科学系との積極的な連携を図る。

(c) 国際社会における日本の専門家としての活動を促進する。

(d) 科学の重要性や学術研究の価値を社会的に位置づけるための情報発信や対話にとりくむ。

(e) 感染症のパンデミック・気候変動・ジェンダー的平等や人権保障などの今日的課題について、さらなる学際的協力を進める。

(f) AASSRECC（Association of Asian Social Science Research Councils：アジア社会科学研究協議会連盟）・ISC（International Science Council：国際学術会議）に日本学術会議や第一部会のメンバーが積極的に参加し、国際的役割を果たす。

(h) 日本の学術研究をグローバルに発信するさらなる努力を進める。

- ・上記の活動方針のうち、とくに（f）のAASSRECCとISCについて、出席者による情報共有・意見交換が行われた。（a）今期の国際協力分科会の白波瀬会員が現在、ISCの副会長を務めている。（b）これまで、IFSSO（International Federation of Social Science Organizations：国際社会科学団体連盟）にも加盟していたが、第25期をもって脱退した。（b）AASSRCが2年に一度開催する総会へ1名から2名の代表者を派遣しており、2025年にインドで次の総会が開催される予定である。派遣要請が届いた後で、派遣代表者について協議する。（c）本分科会のこれまでの開催頻度および形式が確認された。（d）馬奈木会員より、2018年にISSC（International Social

Science Council：国際社会科学評議会）が ICSU（International Council for Science：国際科学会議）へ統合され、その後、ISC へ改称されて創設されたこと、そして 2018 年 9 月 WSSF（World Social Science Forum：世界社会科学フォーラム）福岡大会が開催されたことについての情報提供があった。この大会は ISC の最初の国際会議として位置づけられ、九州大学を中心とした組織委員会によって運営されたものである。